

第三十七代横綱

安藝ノ海

二〇一四年(平成26年)
生誕百年



広島唯一の横綱
広島市南区宇品出身

広島宇品出身の^{あきのうみ}安藝ノ海(当時 西前頭三枚目)は、昭和14年1月場所において、69連勝中の無敵横綱双葉山との初顔合わせで、双葉山を倒し一躍有名になりました。

その後、精進を重ねて横綱にまで昇り詰めましたが、昇進後は、病気やけがに悩まされ、活躍できなかった悲運の横綱でもありました。



安藝ノ海 節男（本名 永田 節男）の略歴

- ◆ 大正3年（1914年）5月30日に 広島市南区宇品海岸で生まれる。小学生の頃から体格が良く、スポーツ万能で負けず嫌いの少年だった。
- ◆ 昭和4年3月 宇品尋常高等小学校（現在の宇品小学校）を卒業。小学校卒業後は、家業の船舶食料品商を手伝う。宇品港市営棧橋で、入港してくる小型船舶に陸地から食料品を運び入れる仕事を手伝い、足腰を鍛える。
- ◆ 昭和6年17歳の時に、広島で開催された関西中等学校相撲大会を観戦した折に、スカウトされ、出羽海部屋に入門する。 昭和7年初土俵。
- ◆ 昭和13年1月 入幕 西前頭16枚目。
- ◆ 昭和14年1月 西前頭三枚目の時、69連勝中の横綱双葉山と初取組し、横綱を破るという大金星をあげ、一躍有名になる。
- ◆ 昭和14年4月 母校宇品尋常高等小学校の土俵開きに参加し歓迎される。
- ◆ 昭和15年5月 関脇の時に14勝1敗で初優勝。
- ◆ 昭和16年1月 大関に昇進。
- ◆ 昭和17年11月 第37代横綱に昇進。（27歳） 【身長177cm・体重127.5kg】
- ◆ 昭和18年3月 横綱になって、母校宇品国民学校（現在の宇品小学校）の屋根付き相撲場の土俵開きに参加し「土俵入り」を披露、地元の人々に大歓迎される。戦時中、宇品港から多くの兵士を送り出しており、大陸巡業の際、宇品出身横綱ということで歓迎される。しかし、現地でマラリアを患い体調を崩してしまう。さらには、マラリアの再発、度重なるケガに悩まされ、以後、本来の力を発揮できなくなる。
- ◆ 昭和21年11月 引退。（32歳）【生涯戦歴 209勝 101敗 38休】
- ◆ 昭和54年3月 64歳で死去。お墓は、元宇品町観音寺入口（永田家）にある。

うじな通実行委員会の活動

2012年に「生家跡の案内板」を元宇品口電停の近くに設置しました。

これからの活動として、広島唯一の、宇品出身第37代横綱安藝ノ海を郷土の誇りとして多くの人に知ってもらうと共に「宇品の港のにぎわいづくり」を進める活動をしていきたいと思っています。



ご意見・ご質問など、連絡先

広島市宇品公民館 電話&Fax：(082)-253-2529

